

会議録（１）

会議の名称	平成２９年度第２回飯能市水道事業運営審議会	
開催日時	平成３０年１月３１日（水） 開会 午後１時３０分 閉会 午後２時３２分	
開催場所	飯能市役所本庁舎５階第１・第２委員会室	
議長氏名	山口 壽秀	
出席委員	野田 裕康、山口 壽秀、宮田 雅之、佐野 イチ、 宮崎 こずえ、馬場 定男、栗原 哲男	
欠席委員	吉田 武明	
説明者の 職 氏 名	上下水道部長 町田 靖 水道業務課長 沢田 二三男 水道工務課長 野口 敏之 水道業務課主査 石井 晃	
傍聴者の数	１人	
会議次第	別紙のとおり	
配布資料	資料１：平成２９年度飯能市水道事業会計補正予算(第２号)案総括表 資料２：平成３０年度飯能市水道事業会計当初予算（案）概要 資料３：飯能市水道事業運営審議会(平成３０年度工事参考資料) 資料４：飯能市水道料金等包括業務委託の契約について	
事務局職員 職 氏 名	上下水道部長 町田 靖 水道業務課長 沢田 二三男 水道業務課主査 綿貫 光行 水道業務課主査 石井 晃 水道業務課主事 鈴木 智大	水道工務課長 野口 敏之 水道工務課主幹 本橋 広司 水道工務課主幹 関根 健二 水道工務課主幹 真野 昌己 水道工務課主査 橋本 典久

会議録（２）

議事の概要（経過）・決定事項

議事（１）平成２９年度３月補正予算（案）について

事務局から「資料１ 平成２９年度飯能市水道事業会計補正予算（第２号）案総括表」の説明を行ったが、質疑はなかった。

（２）平成３０年度飯能市水道事業会計当初予算（案）について

事務局から「資料２ 平成３０年度飯能市水道事業会計当初予算（案）概要」の説明後、質疑応答があった。

（３）その他

事務局から次の説明を行ったが、質疑はなかった。

- ・平成３０年４月１日から平成３３年３月３１日（３年間）で業務委託する、飯能市水道料金等包括業務委託の契約について

会議録（3）

	— 午後1時30分開始 —
庶務・料金担当 リーダー	<p>委員の皆様には、ご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。 開会前ではございますが、2号委員に変更がありましたので、委員の委嘱をさせていただきます。 人事異動により、長年ご尽力いただきました株式会社椿本チエイン埼玉工場の平尾委員に代わりまして、宮田雅之委員でございます。 大久保市長より委嘱状の交付をお願いいたします。</p>
大久保市長	<p><委嘱状の交付></p>
庶務・料金担当 リーダー	<p>ありがとうございました。 続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p><資料確認></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1：平成29年度飯能市水道事業会計補正予算（第2号）総括表 ・資料2：平成30年度飯能市水道事業会計当初予算（案）概要 ・資料3：飯能市水道事業運営審議会（平成30年度工事参考資料） ・資料4：飯能市水道料金等包括業務委託の契約について <p>また、委員に変更がありましたので、参考に水道事業運営審議会条例及び委員名簿を添付いたしました。</p>
全委員	<p>本審議会は公開を原則としておりますので、傍聴を許可してよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">— 異議なし —</p>
庶務・料金担当 リーダー	<p>それでは、本日は傍聴希望者が1名いらっしゃいますので、議事に入りましたら撮影、録音等をご遠慮いただくということで、ご案内いたします。</p> <p><傍聴希望者入室></p> <p>次に本日欠席の委員を報告させていただきます。 吉田委員から欠席の連絡をいただいております。 本日の会議ですが、委員8人のうち、出席者が7人であり、委員の2分の1以上の出席となりますので、審議会条例第6条第2項の規定により会議は成立いたしますことを報告いたします。 また、会議録作成のため、ICレコーダーを使用しておりますのでご了承願います。</p>

	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">1 開 会</div>
<p>庶務・料金担当 リーダー</p>	<p>それでは、ただ今から平成29年度第2回水道事業運営審議会を開会させていただきます。 はじめに、山口会長からごあいさつを賜りたいと存じます。</p>
<p>山口会長</p>	<p>皆様、本年最初でありますので、おめでとうございます。 このところの寒さは大変厳しく、ラニーニャ現象の影響で寒さが厳しいようです。また、このような異常な寒さの状況の中で、水道事業の皆さんには大変ご負担がかかっていることと思います。まだまだこの寒さは続くようですが、市民の一人として感謝申し上げます。 また今年は、ムーミンビレッジが開設されるということで、飯能市の発展の大きな一歩となりますことをご祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
<p>庶務・料金担当 リーダー</p>	<p>ありがとうございました。 続きまして、飯能市水道事業管理者であります大久保市長からごあいさつ申し上げます。</p>
<p>大久保市長</p>	<p>皆様、こんにちは。只今、山口会長からお話があったように、大変寒い中、大勢の委員の方にご出席を賜り誠にありがとうございます。 そして、今般、宮田委員に新たにご就任いただきました。水道事業発展のためにご尽力を賜りますようお願い申し上げます。 さて、この冬は異常な寒さと誰もが感じていることです。東北や北陸を考えれば、あの豪雪地帯は異常なほどの雪と寒さで震えている皆さんを思うと、しっかりと対処していただきたいと感じています。我々は力を出し合ってこの寒さに報いらなければなりません。その中で今般、本市でも水道の破裂、破損が多く生じている状態です。担当からも報告があり、破裂や破損は1軒、2軒と言ったものではないため、水道業者の方も昼夜を問わずご苦労いただいております。我々職員にも限界があり、水道業者の方のプロの技術をお借りしなければならぬことはご案内のとおりです。そのような中、職員が防災無線を使用して少しでも破損や破裂を防ぐため対象地区全戸に、水道管の防寒対策を行っていただくよう呼びかけをいたしました。市民の方がお一人でも破裂や破損に対し、更にはいざというときの危機管理に意識を高めてくださればと思います。特に名栗や吾野の山間地域は、寒さが数度違うと思っております。今般の寒さは、マイナス十何度といった温度です。15軒、30軒、40軒とその地域が破損した場合は危機的状況になると思われま。そしてまた、空気が乾燥していて火災があった場合、初期消火ができないということで、安心・安全の面でも非常にプロセスの準備は必要だと思って</p>

	<p>おります。</p> <p>先程、山口会長がおっしゃいましたが、この秋にメツアが暫定オープンいたします。我々の目的は、常に来ていただいた方に安心・安全な水を供給することが必要だと思っております。そのためには、今、街中の老朽した管の工事をしております。また、小岩井の浄水場の耐震化工事など大きな予算を確保し補修をしているところでございます。安心・安全な水を供給するには、工事等は必要なことだと市民の皆さんにご理解をいただき、委員の皆さんと共に素晴らしい飯能市の水道事業に、限りないお力添えを本年も賜りますようお願い申し上げます、改めて皆さんの素晴らしい1年でありますようご祈念申し上げます、皆さんへの日頃の感謝と本年のご期待を申し上げます挨拶とさせていただきます。</p>
<p>庶務・料金担当 リーダー</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>大久保市長におかれましては、他の公務のため、ここで退席をさせていただきます。</p>
<p>大久保市長</p>	<p>よろしく願いいたします。</p> <p><市長退席></p>
<p>庶務・料金担当 リーダー</p>	<p>それでは議事に入ります。審議会条例第6条第1条の規定に基づきまして、山口会長に議長をお願いいたします。</p>
<p>2 議事</p>	
<p>山口会長</p>	<p>それでは、これより議長を務めさせていただきますので、皆様のご協力をよろしく願いいたします。</p> <p>次第に基づきまして、進行させていただきます。</p>
<p>水道業務課長</p>	<p>(1)「平成29年度3月補正予算(案)について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p> <p>水道業務課長の沢田でございます。よろしく願いいたします。平成29年度水道事業会計3月補正予算案について、ご説明申し上げます。</p> <p>12月補正予算(第1号)としまして人事異動に伴う部分で補正を行っておりますが、今回、収入支出などに変更が生じたので、3月補正予算(第2号)案として、3月議会に提出させていただくものです。</p> <p>資料1をご覧ください。平成29年度飯能市水道事業会計補正予算(第2号)案の総括表でございます。</p> <p>3つの表、一番下の表、「業務の予定量等」でございますが、給水戸数、年間配水量、1日平均配水量及び、主要な建設改良工事につきま</p>

	<p>して、実績に基づく見込みにより補正はございません。</p> <p>また、下から2番目の職員給与費でございますが、1億8,581万2千円に増額補正し、また、一番下の当年度純利益でございますが、1億369万4千円に減額補正するものでございます。</p> <p>裏面、2ページをご覧ください。</p> <p>平成29年度補正予算（第2号）案の主な増減理由でございます。収益的収入でございます。</p> <p>1つ目の営業収益／その他営業収益（水道利用加入金）でございますが、実績と実績に基づく見込みにより、減額補正するものでございます。</p> <p>2つ目の営業収益／その他営業収益（工事負担金）でございますが、要望対応による特設配水管布設工事についてございませんので、減額補正するものでございます。</p> <p>3つ目の営業収益/消費税還付金は、収入の減額により、仮受け消費税が減少したことから、増額補正するものでございます。</p> <p>次に、収益的支出でございます。原浄水費、配給水費、業務費、総係費、簡易水道営業費用について、いずれも基本給の改定に伴う給与費の増加により、増額補正するものでございます。収益的支出の3つ目、配給水費/工事請負費でございますが、要望対応による特設配水管布設工事分の施工がなかったため、減額補正するものでございます。6つ目の総係費/負担金でございますが、基本給の改定に伴う上下水道部長の人件費の増加により、増額補正するものでございます。</p> <p>次に、資本的収入でございます。</p> <p>負担金／工事負担金につきましては、下水道関連工事負担金の減により減額補正するものでございます。</p> <p>また、県補助金の生活基盤施設耐震化等交付金につきましては、小岩井浄水場耐震補強工事が対象ですが、交付額が見込みを下回ったため、減額補正するものでございます。</p> <p>最後に、資本的支出でございます。建設改良費／給料・手当・法定福利費につきましては、基本給の改定に伴う給与費の増加によりまして、また、負担金でございますが、有間ダム堰堤（えんてい）改良事業費負担金の増加によりまして、いずれも増額補正するものでございます。</p> <p>補正予算（第2号）案の説明は以上でございます。</p>
山口会長	この件に関しまして委員の皆様からご意見等ありましたらお願いいたします。
全委員	－ 意見なし －
山口会長	<p>続きまして、議題（2）「平成30年度飯能市水道事業会計当初予算（案）について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>

水道業務課長

平成30年度飯能市水道事業会計当初予算（案）について、ご説明申し上げます。

資料2「平成30年度飯能市水道事業会計当初予算（案）概要」をご覧ください。

1 基本的な考え方でございますが、平成27年度に行ないました料金改定や飯能大河原工業団地などの企業立地等の影響によりまして、給水収益は回復したところでございますが、給水人口の減少傾向や節水機器の普及により、給水収益の減少が見込まれます。一方、施設の更新需要の増加などによりまして、事業経営は依然として厳しい状況にございますので、なお一層の経営努力による経費節減を図った予算編成としたところでございます。

また、平成27年度にご審議いただきました「飯能市水道ビジョン」と同計画を基本とする「飯能市水道事業中期経営計画（前期）」の3年度目となりますが、ビジョンに掲げた安全で良質な水を安定的に供給するため、引き続き水道施設の計画的な整備と維持管理に重点的に予算配分をしたものとなっております。

次に、2 予算概要でございます。

(1) 給水収益見込と業務予定量でございますが、1 給水収益につきましては、過去の給水収益実績をもとに、社会経済情勢等を考慮して見込んでおります。上水分は平成29年度予算に比べ0.6%減の14億2,333万2千円、簡水分は、3.3%減の3,844万8千円を計上しております。平成29年度の実績等を勘案し、上水・簡水ともに平成29年度当初予算に比べ、減少を見込んでおります。

次に、2 業務の予定量でございますが給水戸数は36,000戸、平成29年度当初予算に比べ、100戸の増加となっておりますが、節水機器の普及などで、年間総配水量は、991万6千 m^3 で、29年度当初予算に比べ、6万1300 m^3 の減少、また1日平均配水量は、27,166 m^3 で、29年度当初予算に比べ、169 m^3 の減少としております。

その下の参考ですが、企業誘致についてよく聞かれますので、飯能大河原工業団地の影響について載せてございます。平成29年度は新たに3社が操業を開始し、4月から11月までの前年同期比では、水量等はやや増加しておりますが、進出企業も出揃いまして、平成30年度は、平成29年度と同程度を見込んでおります。

次に、(2) 企業債の借入による財源の確保につきましては、施設整備に要する財源として4億円の借入を予定しております。

平成29年度末の起債残高見込額は約36億8,655万円で、対前年度比2億1,892万円の増額となっておりますが、本市の事業規模では、健全な事業経営が可能な起債残高であると考えております。

裏面、2頁の(3) 有収率向上対策事業からは、水道工務課長からご説明申し上げます。

<p>水道工務課長</p>	<p>水道工務課長 野口です。よろしくお願ひいたします。</p> <p>(3) 有収率向上対策事業についてご説明します。</p> <p>この事業は、漏水の早期発見と漏水量の抑制に努める、有収率の向上を図ることを目的に、1点目は漏水調査委託を実施します。平成27年度～29年度の3年間で市内を一巡して実施しています。平成30年度から3年間において市内を一巡する計画であり、平成30年度は原市場地区のほか、漏水箇所が多い所など状況を踏まえ、140kmを実施していきます。</p> <p>2点目は、今年の1月から実施しています宅内等漏水修繕につきましても、引き続き実施していきます。</p> <p>(4) 漏水等修繕管理業務の委託でございます。</p> <p>配水管等の漏水に対し、迅速かつ的確に対応するため、漏水等修繕業務を飯能市水道事業協同組合へ委託するものです。</p> <p>H29年度前期は、準備期間として、職員及び組合が同行して対応しましたが、後期(10月以降)は、夜間を除く日中の8時30分から17時15分の間は、水道事業協同組合で対応しています。</p> <p>平成30年度からは、夜間も含め24時間の対応を水道事業協同組合へ委託するものです。</p> <p>(5) 主な建設改良事業につきましては、資料3も併せてご覧ください。資料3につきましては、正面に投影いたします。</p> <p>老朽管布設替事業の旧市街地の赤水対策ですが、平成30年度は東町地内を実施します。延長としましては約730mです。</p> <p>漏水懸念箇所の苜生地内配水管布設工事は、平成26年度から順次実施し、平成30年度に約320mの布設替えを行ない、苜生地内の布設替えは終了します。</p> <p>平松地内配水管布設工事は、漏水が懸念される場所であり、道路整備が予定されていますので、道路整備に併せ布設替えを実施するものです。</p> <p>小岩井地内導送水管布設工事は、小岩井取水場から小岩井浄水場へ送る導水管、小岩井浄水場から原市場方面へ送水する送水管を布設するもので、平成30年度は、150mの間を実施する予定です。平成31年度も150m予定しており、平成31年度には小岩井地内の導送水管の布設替えが終了する予定です。</p> <p>配水管網整備事業は、土地区画整理関連、下水道事業に伴い、川寺、笠縫、岩沢地内に配水管の布設を実施するものです。道路工事関連は、道路整備事業に伴い、双柳小学校周辺の配水管を布設するものです。</p> <p>浄水施設場等再構築事業の飯能地内送配水管布設工事は、本郷配水場内において、推進施工により90mを布設するもので平成30、31年度の継続事業になります。</p> <p>県水受水場電気設備等改修工事は、平成29、30年度の継続事業として、既に発注しているもので、工期は、平成31年3月29日です。</p> <p>大河原地内送配水管布設工事は、県水受水場から岩根橋付近まで</p>
---------------	---

水道業務課長

の間、送配水管の布設を実施するものです。

取水・浄水・配水施設等整備事業の小岩井浄水場沈澱池汚泥掻寄機更新工事は、小岩井浄水場内の2池の沈澱池の掻寄機の更新であり、平成29、30年度の継続事業です。工期は、平成30年11月30日です。

小岩井浄水場内送水ポンプ場送水ポンプ盤更新工事は、原市場・両吾野方面、久須美方面、南高麗方面へ送水するためのポンプ盤の更新であり、スライドの写真は、原市場・両吾野方面へ送水するポンプ盤です。

坂石配水場ほか配水ポンプ等交換工事は、坂石配水場内、小岩井浄水場内にある原市場・両吾野方面へ送水するポンプの交換で、スライドの写真は坂石配水場に設置してあるポンプの状況です。

基幹施設耐震化事業は、小岩井浄水場内の高架水槽、着水井、急速ろ過池の耐震補強工事で、平成29、30年度の継続事業です。工期は、平成30年12月25日です。

この耐震補強工事の急速ろ過池の工事は、6池を半分ずつ実施します。その時は、送水を減少せざるを得なくなりますので、急速ろ過池の工事時期の平成30年4、5月の間は、県水受水量を日量4,000tから5,500tに増量して安定した配水量を確保していきたいと考えています。

県水の増量については、市広報紙により小岩井浄水場耐震工事により県水割合の変更を周知したいと考えています。

水道工務課からは以上です。

続いて、水道業務課からです。

3ページをご覧ください。平成30年度飯能市水道事業会計当初予算(案)の総括表でございます。

全体の予算規模として、捉えていただきますとわかりやすいかと思えます。①収益的収入と③資本的収入の合計が歳入、②収益的支出と④資本的支出の合計が歳出とご理解ください。

平成30年度当初予算の歳入は、23億7,745万7千円、平成29年度当初予算の歳入24億1,526万4千円と比較いたしますと、3,780万7千円の減額となりまして減少率は約1.6%でございます。

平成30年度当初予算の歳出は32億4,367万1千円、平成29年度当初予算の歳出31億4,110万1千円と比較いたしますと、1億257万円の増額となりまして、増加率は約3.3%でございます。

また、総括表の一番下、当年度純利益でございますが、平成30年度当初予算では6,550万9千円を計上したところでございます。

4ページをご覧ください。

平成30年度当初予算(案)の主な増減理由でございます。収益的収入でございますが、営業収益/給水収益につきましては、先ほ

	<p>どご説明申し上げましたとおりでございます。</p> <p>次に、営業外収益／消費税還付金でございますが、仮払消費税の増加で、消費税還付金が平成29年度当初予算に比べ、1,089万円の増となっております。</p> <p>次に、収益的支出でございますが、配給水費／委託料につきましては、漏水等修繕管理業務委託料の増と新たに、給水窓口・検査業務を水道料金等の委託と包括で委託することによりまして、平成29年度当初予算に比べ、2,241万5千円の増となっております。</p> <p>次に、業務費/委託料につきましては、量水器取替業務件数の減少による委託料の減によりまして、平成29年度当初予算に比べ、716万9千円の減となっております。</p> <p>次に、資本的収入でございますが、負担金／工事負担金（上水分）につきましては、土地区画整理地内工事負担金及び下水道関連配水管補償工事負担金の減によりまして、平成29年度当初予算に比べ、4,177万1千円の減となっております。</p> <p>最後に、資本的支出でございます。建設改良費／工事請負費につきましては、取水・浄水・配水施設等の整備事業などの増によりまして、7,712万円の増となっております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
上下水道部長	<p>先程、野口課長から説明のありました、小岩井浄水場の急速濾過池耐震補強工事に伴う県水の増量につきまして、補足説明をさせていただきます。</p> <p>これにつきましては、平成29・30年度の継続事業であります。工事の実施にあたりまして、6池ある急速濾過地を半分ずつの3池ごとに工事を実施することから、工事期間中、小岩井から供給している水道水の量が不足するため、市民の皆様にご不便をお掛けすることなく、県水の受水量を一時的に現状の日量4,000㎥から5,500㎥に増量して、対応させていただきます。</p> <p>増量する期間は、4月・5月の2か月間として予算計上しておりますが、実際に県水を増量する期間は、片方約2～3週間で2回予定しています。工事終了後は速やかに日量4,000㎥に戻しますのでよろしく願いお願いいたします。また、工事開始前に、影響のある地域への周知を行ってまいりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。</p>
山口会長	<p>この件に関しまして委員の皆様からご意見等ありましたらお願いいたします。</p>
野田委員	<p>予算の総括表の4ページになります。</p> <p>資本的収入の生活基盤施設耐震化など交付金とありますが、生活基盤耐震化事業と言うのは、飯能市の場合、老朽管の布設替えと言うことでよろしいでしょうか。これは、厚生労働省から予算をもらって埼玉県を通じてもらっていると思います。飯能市の場合は単年</p>

<p>経理担当リーダー</p>	<p>度事業なのか、それとも昨年、今年、来年も行う事業なのか教えてください。前年度の予算の補正のところでは、生活基盤施設耐震化等交付金の交付額が見込み額を下回ったので予算の減額をしていましたが、平成30年度のところでは、生活基盤施設耐震化等交付金の予算が増額し、今年度は昨年度と比較して増額したと考えてよろしいのでしょうか。</p> <p>お質しの生活基盤施設耐震化等交付金ですが、こちらにつきましては、補助対象が飯能市の場合ですと、浄水場の高架水槽、濾過池の耐震化につきまして補助対象となり、平成28年度、29年度、30年度の3か年間にわたって補助を受けることで申請させていただいております。平成30年度につきまして、予算額として計上している部分は、平成29年度、30年度の継続事業と言うことで小岩井の浄水場、取水場の耐震化工事の継続事業のうち、平成30年度に工事を実施する部分について、設計額から補助対象となる部分を積算いたしまして、まずは、県を通じて国に申請する額と言うことで計上させていただきました。先程の補正予算の時に減額となった、即ち交付額が減少したと言うことにつきましては、昨年度も同様に平成29年度分の施工箇所につきまして補助対象額を積算しまして、県を通じて申請しました。県で飯能市同様に県内から申請される金額を一括してまとめた額を国に申請するのですが、国から交付される額が満額とならないため、国から交付された額を当初の申請額の割合で按分した額が交付金となり、実施に交付された額が減額されたというもので補正させていただきました。</p>
<p>宮崎委員</p>	<p>以前、県水を受水する時に受水量を一度増やすと減らすことができないと説明を受けた記憶がありますが、その時その時で、ほしい分を受水することができるのですか。</p>
<p>上下水道部長</p>	<p>県水につきましては、導入いたしました当初から一定量の受水をしておりますが、平成17年に県と変更の協定がございまして、平成27年度に日量5,500m³を受水する協定を結んでいるにも関わらず、現在、そこまでの受水ができていない状態になっております。浄水施設の再構築事業が完成しますと5,500m³の受水ができることとなりますので、それが出来た段階で水の需要の見通しなどを基に、今後の受水量について協議をさせていただければと考えております。</p>
<p>野田委員</p>	<p>今般の凍結は、老朽管など工事をしていないところで起きた破裂なのか、それとも新しくした管でのことなのか教えてください。</p>
<p>上下水道部長</p>	<p>その他で説明を考えておりましたが、ここでご説明いたします。水道メーターを過ぎまして、各家庭に給水している管の破裂と言うことで、26日の金曜日に54件の水が出ない、破裂などの問い合わせ</p>

	<p>わせがありました。市にこれだけ問い合わせが来たということは、実際にはもっと水道管が凍結して水が出ない、破裂が起きたと推測しております。このような状況があり、29日月曜日に、名栗浄水場の管内、上吾野浄水場管内、両吾野浄水場管内、それと原市場地区の倉掛の配水場の管内で、大幅に水の出が増えていることで、配水量としますと平常の3割増し位の水の出の状況がありました。各家庭で不在の家もありますので、メーターボックスの中の止水栓で止めてあればよいのですが、止めてないと水が出たままになってしまいます。これに対しまして、防災無線を活用し25日には防寒対策の呼びかけ、29日には自宅の敷地内の漏水確認の周知をし、現在は落ち着いてきている状況になりつつあります。今回の寒波は、ニュース等で報道されておりますが、東京都内で2,000軒を超える凍結であるとか、特に新潟県佐渡市、石川県輪島市や七尾市では、1万世帯以上が凍結、断水となるなど大きな被害となっております。</p> <p>このような状況に対し上下水道部といたしましては、このようなものに事前に対処できるような方向性を探り、危機管理へ防災無線の使用をお願いする基準を策定いたしまして、水道は重要なライフラインであることから、市民の皆様の安心、安全の確保に努めてまいりますので引き続きよろしくお願いたします。</p>
野田委員	<p>凍結防止に蛇口から水をチョロチョロ流すのは効果がありますか。</p>
上下水道部長	<p>効果はあるのですが、配水量の少ないところでは、各家庭で流されてしまうと、配水量が多くなってしまい、水が足らなくなってしまう事態も考えられます。今回、名栗では平常時より3割程度配水量が多くなってしまい、検針の委託業者の水道検針員さんを急きょ動員しての漏水調査を実施し、10軒の漏水が確認されました。現在は、メーターボックス内で止水してあります。凍結防止につきましては、11月広報で周知しております。</p>
佐野委員	<p>家の中で破裂しているということは、不在で気が付かないのか、在宅してても見えない所での破裂で気が付かないのでしょうか。</p> <p>その時、水は蛇口から全く出なくなるのでしょうか。</p>
上下水道部長	<p>推測になりますが、病院に入院してしまったなどでご家庭が不在の場合が考えられます。年に数件、家の中で水が吹いてしまうことがあります。家にいれば気が付きます。</p> <p>また、水は弱いながらも出ます。</p>
佐野委員	<p>検針員さんが検針の時に漏水があれば教えてくれますが、私たちが蛇口を閉めて、メーターの動きを見ればよいのですか。</p>

上下水道部長	1週間に1回くらい気にかけていただき、メーターを見ていただければ、漏水が早く発見でき大変ありがたいです。今年度、一般家庭で大きな漏水があり、料金が20万円を超える漏水が何件かありました。
佐野委員	風向きにより防災無線が聞き取りにくいです。
山口会長	他に何かございますか。
全委員	－ 意見なし －
山口会長	続きまして、議題（3）「その他」について、事務局からありますか。
水道業務課長	<p>その他としまして事務局からご報告を申し上げます。</p> <p>はじめに、「飯能市水道料金等包括業務委託の契約について」でございます。</p> <p>資料4をご覧ください。現在、長期継続契約により業務委託しております、検針業務、料金計算電算処理業務委託、徴収業務委託及び名栗簡水の料金計算等業務委託につきましては、平成30年3月31日を以て契約満了となります。次期契約につきましては、現在の契約に、水道工務課給水・未給水地域担当で行っております給水装置の受付、検査等の事務を「給水窓口・検査業務委託」といたしまして追加し、市民サービスの向上や人件費の削減、業務の効率化を進めるため業務を包括した委託としたいと考えております。委託期間は、随意契約により平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間を予定してございます。</p> <p>報告は以上です。</p>
山口会長	「その他」について、事務局から説明がありました。質問やご意見等はございますか。
全委員	－ 意見なし －
山口会長	他に何かございますか。
全委員	－ 意見なし －
山口会長	よろしいでしょうか。それでは、以上をもちまして本日の議事は全て終了しました。これをもちまして議長の職を解かせていただきます。委員の皆様、長時間にわたりまして、誠にありがとうございました。

<p>庶務・料金担当 リーダー</p>	<p style="text-align: center;">3 閉会</p> <p>委員の皆様におかれましては、長時間にわたり、貴重な意見等を賜りまして、誠にありがとうございました。 来年度は3回程度の開催を予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、閉会のことばを馬場副会長お願いします。</p>
<p>馬場副会長</p>	<p>本日は、長時間にわたりまして慎重な審議をいただき有難うございました。以上をもちまして、第2回飯能市水道事業運営審議会を閉会いたします。</p>
<p>庶務・料金担当 リーダー</p>	<p style="text-align: center;">ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">— 午後2時32分終了 —</p>